

群馬県医師会 会長 須藤英仁 先生

「熱中症判定フリーアプリ」の社会実装に関するお願い

国立研究開発法人国立環境研究所 気候変動適応センター センター長

S-24「気候変動適応の社会実装に向けた総合的研究」プロジェクトリーダー

肱岡 靖明

テーマリーダー 横堀将司 （日本医科大学救急医学）

謹啓

時下、先生方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は地域の医療連携および医師会活動に多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、夏本番を迎え、熱中症患者の増加に伴う救急医療への負荷が懸念される季節となりました。

このたび、環境省および独立行政法人環境再生保全機構の支援を受け、熱中症の早期発見・適切な受診勧奨、および医療機関での受け入れ効率化、さらには将来的な熱中症対策のためのデータ蓄積を目的として、「熱中症判定フリーアプリ」を用いた研究プラットフォームを社会実装することとなりました。このアプリは、いわゆるWEBアプリで、スマートフォンやタブレットなどにダウンロードが可能です。いつでも熱中症の重症度を判断でき、また、応急処置や医療機関受診の必要性を明示してくれるものです。また、患者個別のQRコードを出すことで、熱中症患者の状態がどのように改善したか、転帰も追跡できるものとなっております。

つきましては、貴医師会に属するクリニックや病院において、患者が救急搬送される場合、あるいは熱中症にて受診する際に、医師、医療従事者に自身の携帯端末でQRコードを提示する場合がございます。その際にはお手数ですが、QRコードより患者情報をご入力いただき、患者データ収集にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、先生方にご入力いただいたデータは、匿名化された上でデータベースに蓄積されます。貴医師会の会員皆さまにリアルタイムの熱中症発生データを共有させていただきます。将来的には「熱中症警戒アラート」の精度向上など、より実効性の高い予防対策へ還元していく予定です。

地域の熱中症救急搬送の最適化と、これからの医療の発展のため、先生方のご高配とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

## 記

### 1. 本取り組み・アプリケーションの概要

本システムは、環境省熱中症対策室 および 独立行政法人環境再生保全機構（ERCA）環境研究総合推進費の協力を得て開発された、熱中症分析データ基盤です。

- 患者向けアプリ（重症度判定・受診勧奨） 患者自身や周囲の方が症状・既往歴を入力することで重症度（スコア 1～4：Ⅰ度～Ⅳ度熱中症に相当）が算出され、適切な行動（救急要請、外来受診、応急処置）を促します。
- 医療関係者向けアプリ（情報連携・データ蓄積） 患者がアプリから出力した QR コードを救急隊や医療機関に提示します。救急隊や医療機関がバイタルサインや転帰を入力することで、患者転帰を把握し、リアルタイムな熱中症対策に生かすことができます。

### 2. お願い

・データ入力をお願い：患者がスマートフォン等で提示する QR コードから、医療関係者向け画面より、初診時のバイタルサインや治療アウトカム（予後情報等）のご入力をお願いいたします。 ※入力は1～2分で完了するシンプルな設計です

・患者への周知をお願い：熱中症を発症する患者の1割が、以前にも熱中症を発症していることが明らかになっています。熱中症患者の行動変容を促すべく、本アプリを紹介するチラシの掲示など、患者への情報提供をお願いいたします。

### 3. 本研究の目的と将来的な還元

先生方にご入力いただいたデータは、匿名化された上でデータベースに蓄積されます。医師会の皆さまにアクセスいただけるホームページにてデータを共有させていただきます。将来的には行政の「熱中症警戒アラート」の精度向上など、より実効性の高い予防対策へ還元していく予定です。

(別添) 参考資料 一式

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

日本医科大学大学院 医学研究科 救急医学分野 教授 横堀将司

113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5 日本医科大学 救急医学分野

TEL : 03-3822-2131 / Email : [shoji@nms.ac.jp](mailto:shoji@nms.ac.jp)

以上